

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

マインドワンダリング及びマインドフルネス傾向の ADHD 中核症状との関連：服薬状況を調整することでのモデルの精緻化

1. 研究の対象および研究対象期間

2017 年 6 月 1 日から 2018 年 5 月 31 日に昭和医科大学病院附属東病院精神神経科を受診し、注意欠如多動性障害（以下、ADHD）と診断され、かつ、ADHD 以外の精神科疾患の併存障害の診断はされていない 18 歳以上の患者さん。

2. 研究目的・方法

研究目的：マインドワンダリングとは、「心ここにあらず」の状態、思考の内容が予定通りに進まずに、それまでのトピックとは無関係な内容に突然逸れたり移行したりする現象のことで、ADHD の特徴的な症状と言われています。マインドフルネスはマインドワンダリングと相反する概念であることが示唆されており、マインドフルネス介入療法は ADHD の症状緩和に関連するともいわれています。どちらも ADHD における社会生活上の障害を検討するうえで重要な概念ですが、それぞれが ADHD のどのような症状と関連しているかどうかについて詳細には分かっていません。そのため成人期の ADHD 症状とマインドワンダリング、マインドフルネスの程度の関連を明らかにするために複数の心理検査結果を診療録より用いて調査を行います。尚、本研究ではこれら三者の純粋な関連を調査するために、年齢や性別、向精神薬の服薬状況など、ADHD の症状に影響しうる要素も考慮に入れて研究を行います。

方法：成人期の ADHD の患者さんに施行した複数の心理検査結果のデータを統計学的に解析し、成人期の ADHD の主要な各症状とマインドワンダリングおよびマインドフルネスの関連を調査します。

3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2028 年 3 月 31 日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

- ①年齢、②性別、③就学年数、④向精神薬の服薬状況、⑤以下の心理検査の結果
- ・ Japanese Adult Reading Test 25 (JART-25)
 - ・ 自閉症スペクトラム指数 (AQ)

- ・ コナーズ成人 ADHD 評価スケール (CAARS)
- ・ Mind Wandering Questionnaire (MWQ)
- ・ Mind Excessively Wandering Scale (MEWS)
- ・ Mindful Attention Awareness Scale (MAAS)

5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません

6. 研究組織

研究責任者	研究機関名	昭和医科大学医学部精神医学講座	氏名	沖野 和磨
研究分担者	研究機関名	昭和医科大学医学部精神医学講座	氏名	石原 里彩
	研究機関名	昭和医科大学医学部精神医学講座	氏名	幾瀬 大介
	研究機関名	昭和医科大学医学部精神医学講座	氏名	林 若穂
	研究機関名	昭和医科大学医学部精神医学講座	氏名	鈴木 洋久
	研究機関名	昭和医科大学医学部精神医学講座	氏名	真田 建史
	研究機関名	昭和医科大学医学部精神医学講座	氏名	岩波 明

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学精神医学講座

氏名：石原里彩

住所：東京都世田谷区北烏山 6-11-11

電話番号：03-3300-5232